

行政評価シート(事後評価)

コード (94) 8-5-4	事務事業名 都バス(「梅70」系統)運行事業	所管部課 都市整備部都市計画課(旧交通計画課)
-------------------	---------------------------	----------------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等	
	多摩地域における都営バス路線が、地域住民の日常生活にとって不可欠な交通機関であることから、路線の運行を図るものである。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領	
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等		
	東京都と青梅市、小平市、東大和市、武蔵村山市、西東京市及び瑞穂町とは、多摩地域における都営バスの公共負担金に関する協定を締結し、都営バスを柳沢駅から青梅車庫まで運行している。 協定期間は、平成17年4月1日から平成20年3月31日であり、今年度、協定延伸事務を行う。 関係市町の公共負担の額は、算定基礎額の3分の2に相当する額を配分基準(固定負担割合:20%、実車走行キロ割合:40%、延人キロ割合:40%)により算定した額とする。		
事業開始時期	13年度	実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (都営バスの公共負担金)

事業費データ	項目	単位	16年度	17年度	18年度	19年度
	事業費(A)		19,167	20,939	20,939	20,939
	財源		9,583	10,469	10,469	10,470
	国庫支出金・都支出金					
	地方債	千円				
	内 其他 ( )					
	一般財源		9,584	10,470	10,470	10,469
	所要人員(B)	人	0.20	0.20	0.20	0.20
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	1,666	1,637	1,632	1,632
	臨時職員等賃金(C')	千円				
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	20,833	22,576	22,571	22,571	
単位当たりコスト						
(E)=(D) / ( 運行本数 )	千円	1.80	1.95	1.95	1.94	

評価指標の設定	活動等指標		単位	16年度	17年度	18年度	19年度
	運行本数	実績値	本	11,583	11,583	11,583	11,618
		実績値					
	(指標の説明・数値変化の理由 など) 1年間の運行本数						
	成果指標		単位	16年度	17年度	18年度	19年度
	一次 利用者数	目標値	人			107,671	107,671
		実績値	人	83,894	107,671		
	二次 市民の満足度	目標値					
		実績値					
	(指標の説明・数値変化の理由 など) 1年間の利用者数						

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	青梅街道の5市1町を結ぶ幹線のバス路線として、昭和病院等への通院や小平駅・青梅街道駅・新小平駅など地域住民の日常生活にとって不可欠な交通機関となっている。	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	各市町区間の乗客数では、青梅市:504人/日・瑞穂町:158人/日・武蔵村山市:232人/日・東大和市:444人/日・小平市:549人/日・西東京市:296人/日であり、西東京市は、6市町のうち4番目の利用者数がある。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	西東京市官内で見ると代替路線として吉祥寺駅から花小金井駅の路線があるが、西東京市から昭和病院などの施設等にアクセスする路線はない

コード (94) 8-5-4	事務事業名 都バス(「梅70」系統)運行事業	所管部課 都市整備部都市計画課(旧交通計画課)
-------------------	---------------------------	----------------------------

### 【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>「梅70」は、戦後の復興期において、郊外地域から都心部への直通需要が増加し、三多摩振興を図るために運行されたが、鉄道 の充実により三多摩振興という目的は薄れたが、地域住民の足として利用されている。</p> <p>西東京市管内の「梅70」(バス停:柳沢駅～花小金井二丁目)の代替路線としては、吉祥寺駅から花小金井駅を結ぶバスルートが有るが「梅70」のような広域的な路線ではないため、花小金井駅よりも西側の昭和病院などへは、西東京市から直接行くことはできない。しかし、西東京市管内の一日当たりの乗車人数は、296人/日であり、はなバスのルートの最低乗車人数(第5ルート:446人/日)より約150人も少なくなっており、利用価値は高いとは言えない。</p> <p>このことから「梅70」の運行について検討する必要があるが、関連市との関係や既存バスルートの廃止に伴う利用者の不利益等の問題などがあり今後調整が必要となる。</p>
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	2			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	2			
市民ニーズの把握	1			

### 【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	1		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<p>昭和病院などの公共施設と市内を結ぶ路線として、広域負担により路線を維持してきた経緯があるが、代替の交通機関もある現在では、西東京市民にとって必要不可欠な路線であるとは言い難い。また、西東京市管内の一日当たりの乗車人数も、はなバスのルートの最低乗車人数より大幅に少ない利用状況にあり、負担金の継続の必要性について検討する必要がある。</p> <p>なお、現協定は平成20年3月末で期間が満了することから、平成20年度以降の協定継続については、東京都及び関係市町と十分調整を図っていく必要がある</p>
事業の必要性	1			
事業主体の妥当性	1			
直接のサービスの相手方	1			
事業内容等の適切さ	1			
受益者負担の適切さ	3			
市民ニーズの把握	1			

### 【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>平成20年度から新たな協定となるため、協定締結に当たっては、公共負担を担ってきた過去の経緯を踏まえつつも、コミュニティバス導入など地域公共交通を取り巻く環境の変化、乗降客の実績、市民ニーズといった視点から、当該路線の維持の必要性について整理しておく必要がある。</p>